

製品含有化学物質管理システムの監査員養成

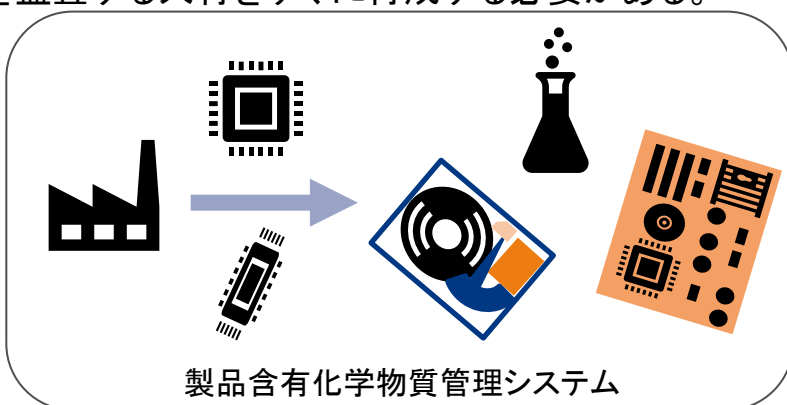
鉛、水銀、カドミウムなどの人体や環境に有害な化学物質の管理は、グローバルレベルで求められており、各国法令により規制がされています。また、法規制は常に変化しています。

電気・電子部品や機器などの製造販売企業において、法規制を遵守し、製品に含まれる有害な化学物質を適切に管理することは必須です。

製品に含まれる化学物質を管理するためには、管理システムを作り、PDCAサイクルが回っているかをチェックする仕組み(監査)と人材(監査員)が必要です。本コースでは、製品含有化学物質管理システムを監査する際のポイントと、演習を通して監査員に必要なとなる知識の習得を目指します。

こんなお悩み・ご要望はありませんか？

- 顧客に、製品含有化学物質管理システムの構築を求められている。
- 製品含有化学物質管理システムを監査する仕組みを立上げたい。
何をどうすればよいか知りたい。
- 製品含有化学物質管理システムを監査する人材をすぐに育成する必要がある。

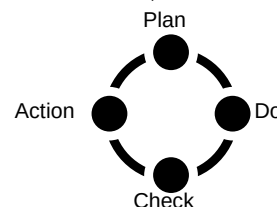


コースの特徴

- 富士通での製品含有化学物質管理から得たノウハウに基づく教育内容
- 富士通のお取引先2000社に対し、製品含有化学物質管理システムの監査実績を持つ当社の講師陣
- 短時間の演習により、問題検出力の向上を図る

コースの概要

- 製品含有化学物質管理システム、実施状況の確認ポイント(* JIS Z 7201ベース)
- 富士通の事例による監査の流れ
- 監査のミニ演習



* 日本工業規格「JIS Z 7201 製品含有化学物質管理一原則と指針」

コースのゴール

- 製品含有化学物質管理システムの監査の仕組みと流れを理解すること
- 製品含有化学物質管理システムの監査の着眼点を理解すること
- 製品含有化学物質管理システムでの問題検出力を向上すること



コースの開催形式および費用

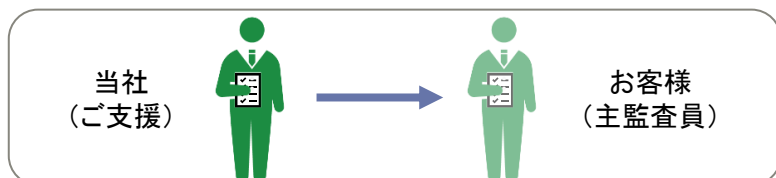
- 開催形式：お客様先で、オンサイトセミナー（講師派遣型）として開催いたします。
- 研修時間：標準は、6時間です。
- 受講人数：1回10名様まで受講いただけます。
- 費用：受講人数により個別見積りさせていただきます。
（内訳）講師派遣費用、テキスト代（人数分）、交通費、宿泊費、その他



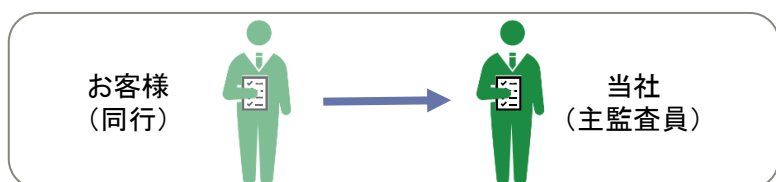
オプション

- 経験豊富な当社の監査員が、OJT形式でお客様の監査をご支援いたします。
監査先は、お客様またはお客様のお取引先サプライヤ様です。
2つの監査形態に対応いたします。

- 監査形態1 お客様が主監査員、当社はお客様のご支援（同行）



- 監査形態2 当社が主監査員、お客様は監査に同行



- 研修時間：ご相談の上、決定させていただきます。
- 費用：監査形態、監査先により個別見積りさせていただきます。
（内訳）監査準備、監査員派遣、結果まとめ、交通費、宿泊費、その他

お問い合わせ先

ユーロフィンFQL株式会社

<https://www.eurofins.co.jp/efql/contact>

9時～17時 土・日・祝日・当社指定の休業日を除く